

## 水南公民館でつながる、心と心の交流

## 瀬戸市水南公民館(愛知県)



韓国利川市ホームステイ交



アフタースクールサロ

## 公民館の沿革・年表

- ・昭和28年 瀬戸市水南公民館設立。
- ・平成21年 韓国利川市倉前洞自治会との交流を開始
- ・平成30年 中学生のホームステイ交流を実施
- ・令和5年 コロナ禍で一時中止となっていたホームステイ再開
- ・令和6年 「公民館と学校の協働活動補助事業」の研究事業として「アフタースクールサロンin水南公民館」を開催

## 左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- ・韓国の利川市の中学生と水南地域の中学生のホームステイ交流。水南学区の中学生が訪韓し、学校を視察したり、市長に表敬訪問したりするとともに、工芸品づくりや調理実習など、両国の文化理解を促進するプログラムを実施した。
- ・小学生の下校後の居場所づくりを目的とした、「アフタースクールサロンin水南公民館」を全15回開始した。その中で行われた工作教室の様子。

公民館情報		1. 公民館対象人口	10,435人	4. 利用可能時間	9:00~21:00
		2. 建物設置年月日	昭和28年2月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		3. 開館日数	356日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	50台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (瀬戸市公民館協議会) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2,830人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 10,600人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 2,000人 ( )				合計 15,430人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 人 <input type="checkbox"/> 非常勤 人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 ( 職員のうち社会教育士の数 人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 人 )				合計 2人
10. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 地域防災・減災 <input type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語教育の推進 <input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援 <input type="checkbox"/> 伝統文化継承活動 <input type="checkbox"/> 世代間交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども・若者の居場所づくり <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 社会人の学び直し <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 国際交流 )				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 住宅街の中にあり小学校が隣接している。 )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ( 水南保育園、水南小学校、本山中学校、水南連区自治会 )				

## 瀬戸市水南公民館

OPEN 9:00~21:00

H P

なし

TEL 0561-21-2556

SNS

なし

## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

【国際交流】瀬戸市と韓国利川市は、焼き物の産地の縁から平成18年に姉妹都市連携を開始。利川市から住民同士の交流を提案されたことを受け、水南公民館が積極的に関与し、平成21年から文化交流を深めてきた。平成30年に中学生のホームステイ交流も実施した。その後、コロナ禍となったため、交流は一時的に中断していたが、令和5年より交流を再開した。

【学校との連携事業(コミュニティースクール)】令和6年度「公民館と学校の協働活動補助事業」の研究事業として、「アフタースクールサロンin水南公民館」を開催。児童の下校後の居場所の一つとして、全15回延べ160人の小学生が参加した。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

### 【国際交流(体験活動、国際交流)】

#### 情報交換と学び合い

韓国利川市倉前洞住民自治会と情報交換や活動紹介を行い、相互の学びを深める。

#### 交流イベントの開催

利川市からの訪問団を水南公民館まつりに招待し、「韓国利川市交流ひろば」を設け、韓国の文化や生涯学習を紹介するパネル展示、工作体験教室を実施。

#### 中学生のホームステイ交流

両国の文化理解を促進するプログラム(和菓子づくり体験、授業体験等)を実施。

#### 文化講座の開催

諸外国の文化(言語、音楽、食事)の紹介講座を実施し、地域住民の国際理解を進める。

#### オンライン交流の実施

コロナ禍でも交流を継続するために、Zoomを利用して韓国語サークルと利川市の日本語サークルでの交流を実施。

### 【学校との連携事業(地域学校協働活動、こども・若者の居場所づくり、コミュニティースクール)】

公民館まつりで小学校の体育館を使用し児童の作品や演奏の発表、児童下校後の居場所づくりとして工作や鑑賞会等を実施。



ホームステイ交流（和菓子づくり）



国際理解講座

## 3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

水南公民館は、地域住民の文化交流のプラットフォームとしての役割を果たしている。また、交流イベントの企画や運営においては、地域のニーズを反映させるための事前調査を実施し、参加者の意見を取り入れたプログラムを展開。地域に寄り添い、地域の未来を考えた事業を運営できるよう工夫している。



地域のニーズを反映させた事業を実施

## 4. 取組による成果や効果

**国際交流の促進:** 中学生や地域住民の国際理解が深まり、異文化交流の機会が増加した。

**地域の活性化:** 水南公民館を中心に地域コミュニティが活性化し、住民の参加意識が高まった。

**文化教育の充実:** 講座や体験活動を通じて、地域住民の文化的知識や技能が向上した。

## 5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

定期的に活動内容の充実と改善を図るためアンケートを実施。集まった意見をもとに次のイベントや講座の内容を見直し、住民のニーズに応じたプログラムを構築。また、運営スタッフ間での定期的な会議を設け、取組の進捗や課題を共有することにより、改善点を明確にして今後の運営に反映している。



運営スタッフで検討した公民館まつり

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

地域の特性を活かした新たな講座やイベントを企画し、市民の参加を促進することで、地域の活性化に寄与したい。



公民館の外観